

[参考資料]

資料1 主なバイオマスの炭素量換算ベースの発生量・利用量

有機物量（湿潤重量）ベースの発生量及び利用量を炭素量に換算しました。

$$\text{炭素量換算ベース} = \text{バイオマス重量（湿潤重量）} \times (1 - \text{含水率}) \times \text{元素C割合}$$

(単位：ト/年)

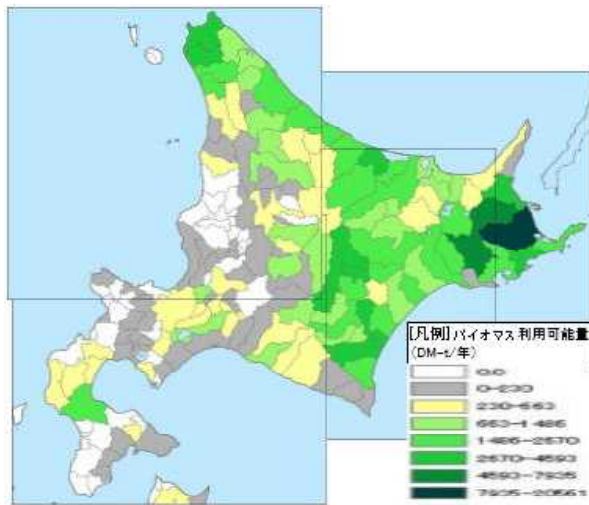
区 分		発生量	利用量	備 考
○農村地域				
家畜排せつ物	現 状	1,211,301	1,187,433	(含水率)0.83/(元素C割合)0.351
	目 標 (見通し)	1,175,499	1,151,631	
農作物非食用部	現 状	440,897	391,658	(含水率)0.3/(元素C割合)0.409
	目 標 (見通し)	471,822	471,822	
○中山間地域				
製材工場等残材	現 状	340,015	337,840	(含水率)0.40/(元素C割合)0.518
	目 標 (見通し)	407,148	404,351	
未利用木材	現 状	310,800	28,904	(含水率)0.40/(元素C割合)0.518
	目 標 (見通し)	354,001	134,266	
○沿岸地域				
漁業系残さ・ 水産加工残さ	現 状	15,870	15,478	(含水率)0.903/(元素C割合)0.384
	目 標 (見通し)	16,721	16,378	
○都市地域				
食品加工残さ	現 状	47,432	45,568	(含水率)0.903/(元素C割合)0.442
	目 標 (見通し)	41,802	40,988	
生ごみ	現 状	26,187	2,144	(含水率)0.903/(元素C割合)0.442
	目 標 (見通し)	21,994	7,975	
下水汚泥	現 状	15,332	12,347	(含水率)0.75/(元素C割合)0.384
	目 標 (見通し)	14,088	11,975	

資料2 道内の主なバイオマスの有効利用可能量の分布図

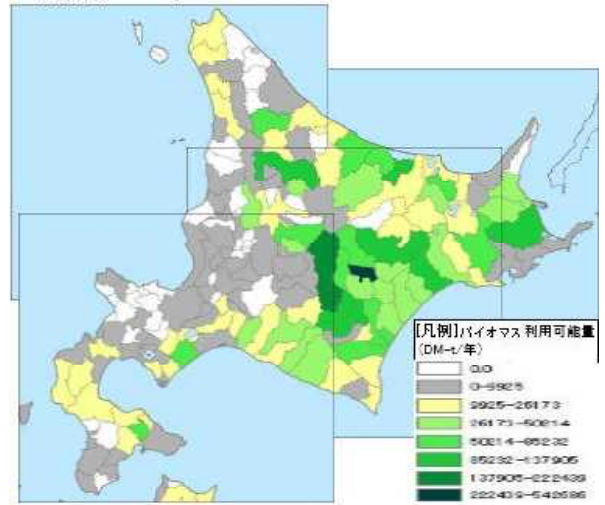
〔 出典：NEDO 「バイオマス賦存量・有効利用可能量の推計」(2011年調査)  
<http://appl.infoc.nedo.go.jp/biomass/biomass/index.html> 〕

[DM/t=バイオマス乾物重]

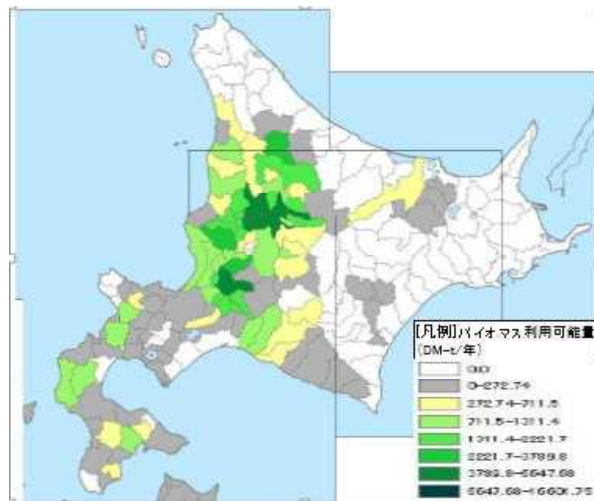
■乳用牛ふん尿



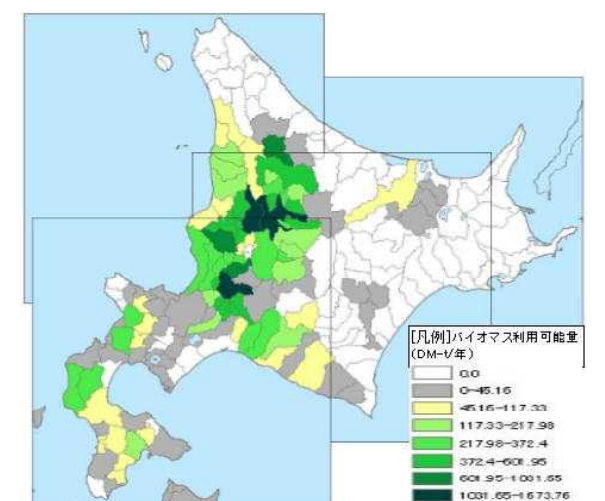
■肉用牛ふん尿



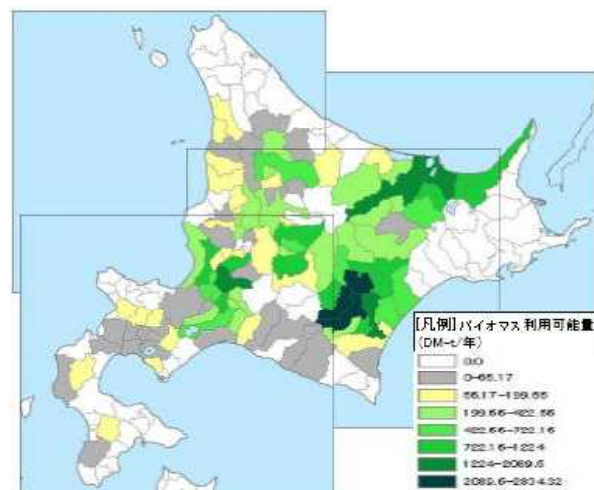
■稲わら



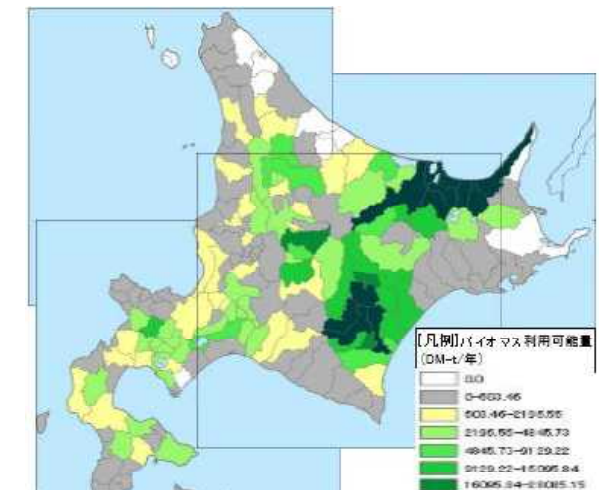
■もみ殻



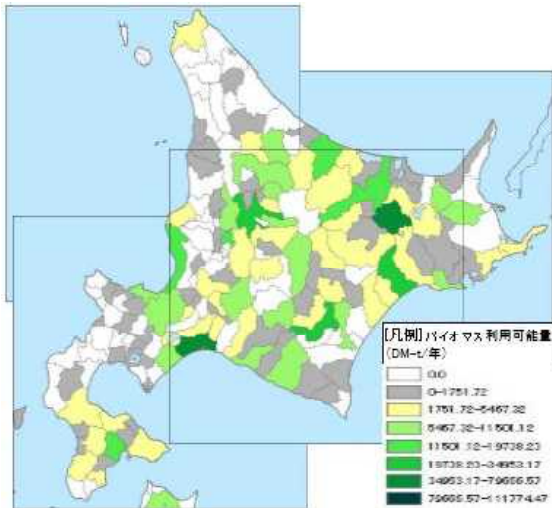
■麦わら



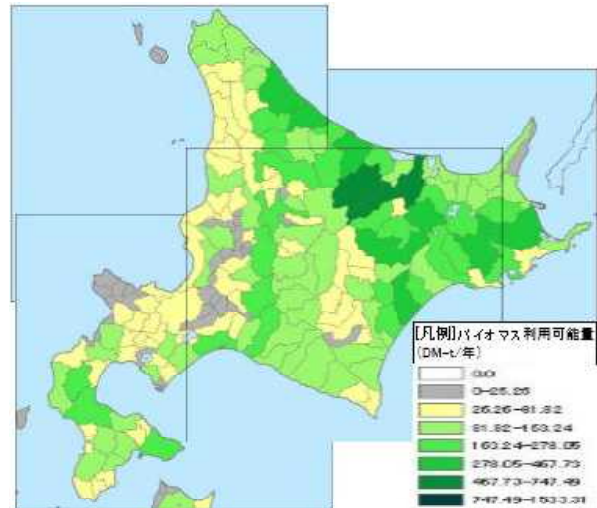
■その他の農業残さ



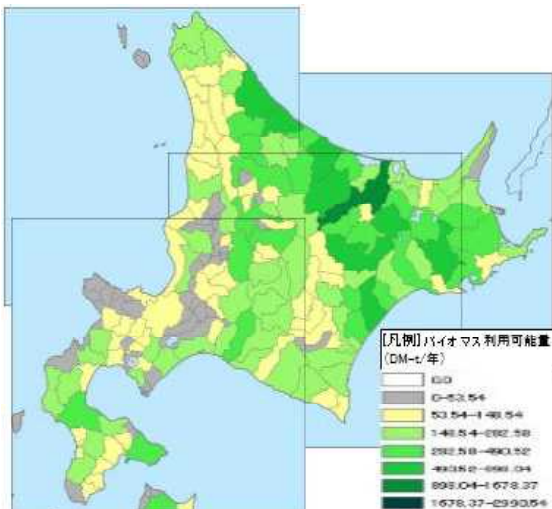
■国産材製材廃材



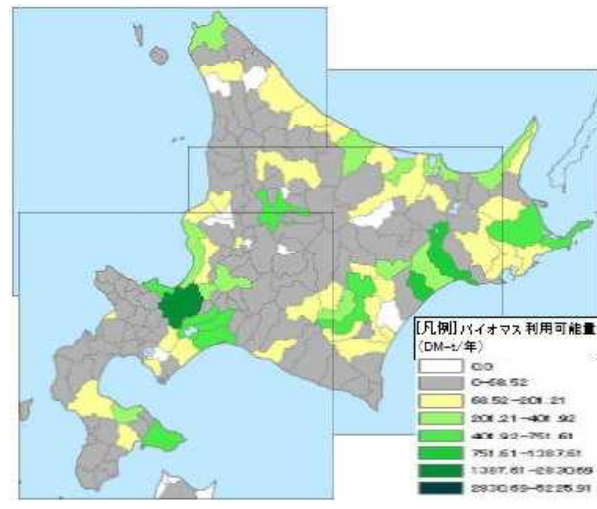
■林地残材



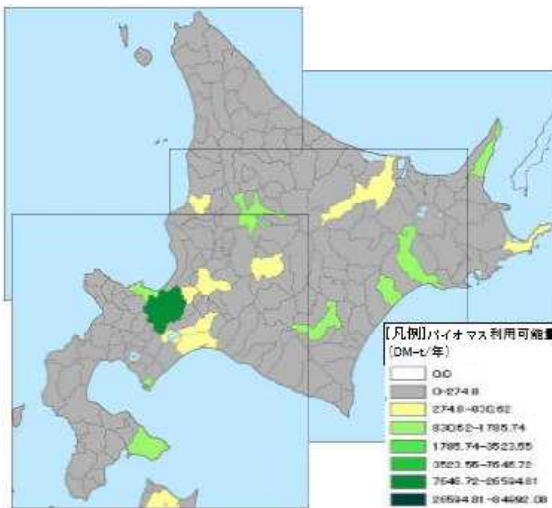
■切捨間伐材



■食品加工廃棄物



■事業系厨芥類



■家庭系厨芥類

